

# 新しい 住まいの設計

*Utility=comfortable!!*

ハ 家 よ う こ そ !  
ウ 事 ラ ブ  
ス ヘ ク

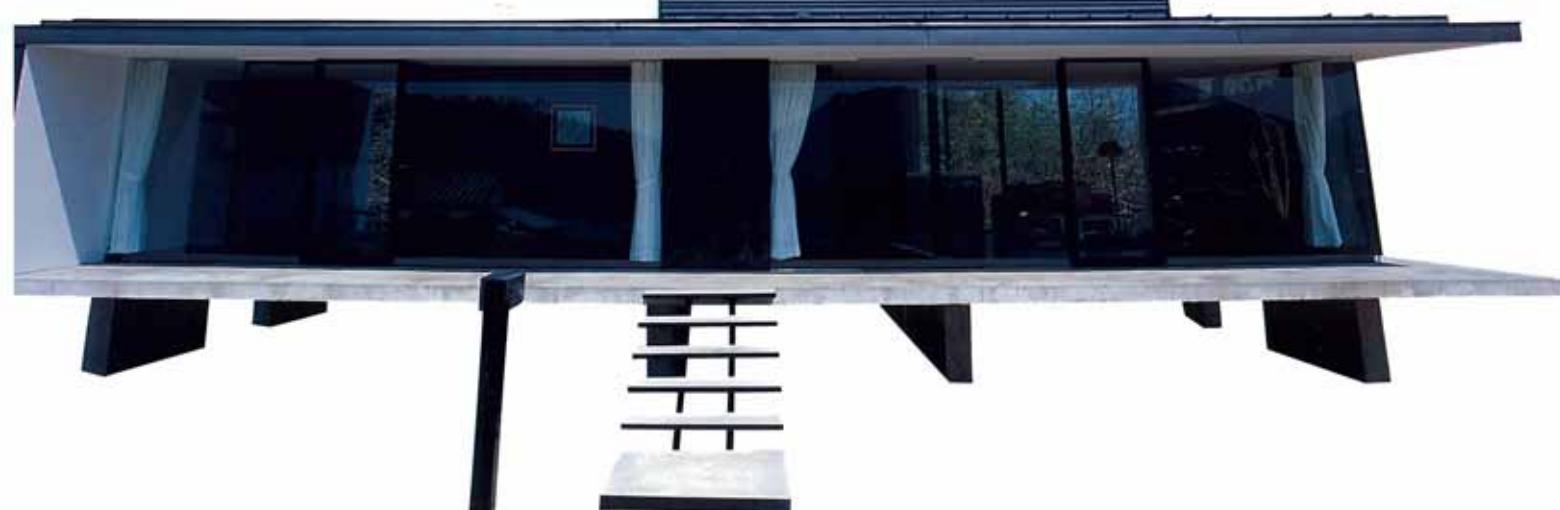
大家事ラク  
大家電&設備  
大集合!!

そ  
れ  
な  
ら  
リ  
フ  
オ  
ー  
ム  
が  
正  
解  
!

2005

8

定価1000yen



August

## 今月の工務店

01 大和建設 岡山・倉敷市

02 管組 香川・三豊郡



Mさんの家 香川・善通寺市  
 本体工事費●2950万円  
 3.3m単価●74.9万円  
 床面積●129.93m<sup>2</sup>  
 家族構成●夫52歳 妻44歳  
 母76歳

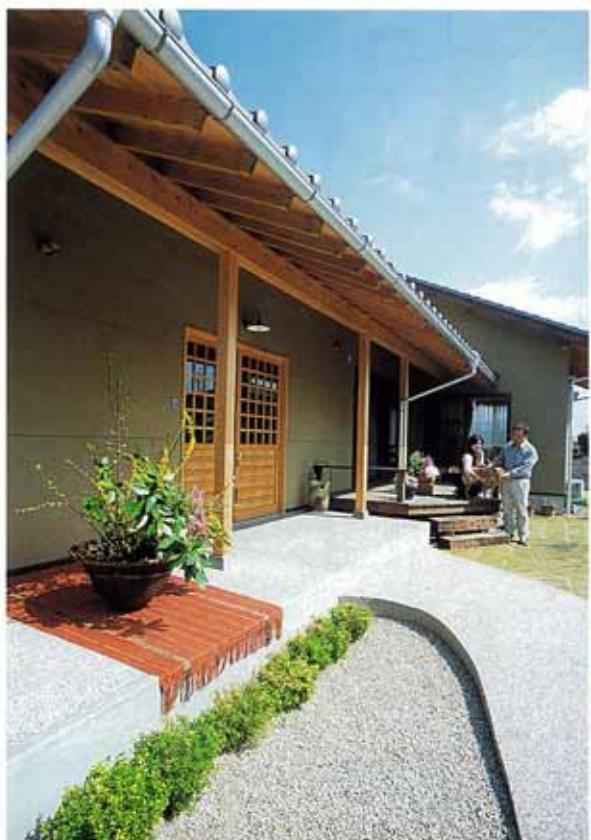
香川・三豊郡  
 菅組

02

土佐の杉、和紙、珪藻土…。自然素材を多用し、光と風に満ちた健やかな住まい



愛犬とともにくつろぐご夫妻。東側には水田が広がり、昔ながらの家並みが続くどかな風景に溶け込むような外観デザインで、越屋根が独特のプロポーションを生んでいます



(右)深く垂らした軒で、夏の強い日差しや雨が吹き込むのを防ぎます (左)エントランスからしっとりとした風情が漂います。スロープは、車椅子でもスムーズに通れるように緩やかな角度に設定【屋根】日本瓦葺き【外壁】防火サイディングアクリルリシン吹き付け



南や東側の開口部から光が入り、明るいリビング。庭の手入れには、デッキから出入りすることが多いのだと。重心が低く落ち着ける振りごたげは、「つい長居しちゃう」と奥さまの友人にも好評

Mさん宅は、軒を深く垂らした

平屋建て。落ち着いたたたずまいの玄関に入った瞬間、がつしりとした木組みが表れた空間に、包まれるような安心感をおぼえます。

「夫妻が家づくりにトライしたのはこれで2度目。5年ほど前に、築27年の家を建て替える話が進みかけたものの、諸事情で断念。其働きだった当時は、機能を優先させていましたが、今回は、「自然を感じながらゆったりと暮らせる家」へと、気持ちが移っていったそうです。

菅組とは、ご夫妻が展示場めぐりをしながらも「ピッタリじゃない感じ」といいた頃に、オープンハウスを知らせた折り込みチラシで出合いました。その後軒か見に行くなかに、イメージ通りの和風ティエストの家があり、土佐杉を多用した自然素材の家づくりもすっかり気に入つて、お願いすることにしたそうです。

仕事で忙しいご主人に代わり、家づくりをリードしたという奥さま。

現在病院にて月に数日自宅で過ごすご主人のお母さまのこと、老後自分たちも体に負担なく暮らせるようになじこを考え合わせ、平屋のプランをスケッチして設計の山地隆之さんと打ち合わせを重ねました。

プランは、東側にLDKや水回りを寄せて、西側には和室を2つ。家事動線が短く、車椅子でも移動やすいように家全体がゆったりとフロントに設計されています。なかでも、掘りごたつを配したりビングは、ご夫婦お気に入りの場所。南に張り出したデッキが内と外とを緩やかに結





赤みの差し色が入ったラオス松の床板や土佐杉の構造材が、温かみのあるインテリアを構成しています。土佐杉は十分に人工乾燥されたもので、背割りをしていくなくても割れが起こりにくくなっています。壁には土佐和紙、ペアサッシの内側には障子がしつらえられ、断熱・気密性も万全。真冬も、ファンヒーターで一度暖めると熱が逃げにくく、快適に過ごせたそうです

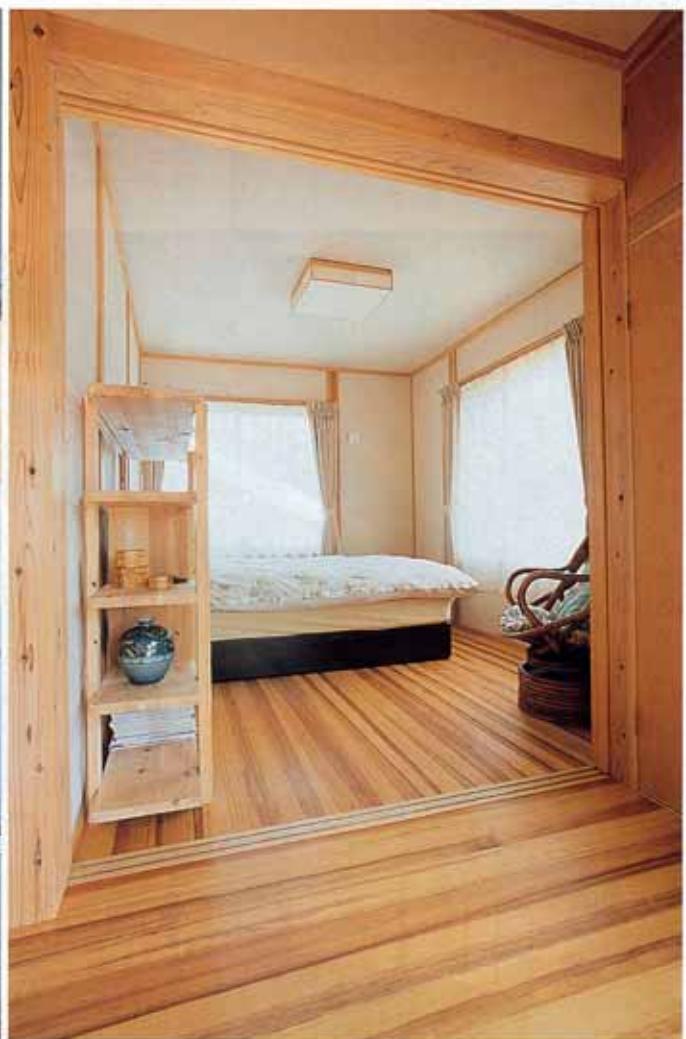


化粧の野地板や垂木が表された玄関は、老舗旅館を思わせる贅沢なしつらえ。壁は小舞土壁を下地に珪藻土が塗ってあります。家のあちこちに架けられた梁は、柱などと同様に土佐杉の集成材

び、越屋根が木の空間に明るさや  
びやかさを添えています。  
「以前とは違つて、ふだんの家事も  
気持ちよくできて…。風が通りつく  
りなので、これからはじめて迎える  
夏も楽しみなんです」(奥さま)  
季節の移ろいを感じながら、末水  
く付き合える家をしみじみと慈しむ  
様子がうかがえます。



(右)西側の和室は予備室で、親戚の集まりなどにか行事の際に使われるそうです。(左)北側からのやわらかい光が回り込むリビング正面の和室は、寝室として利用。ご主人は不規則な勤務体制のため、ここでひとり休むことも。壁際には書斎コーナーを造り付けてもらいました



(右)南側の庭に面した6畳の間は、お母さまが月に3度ほど病院から帰ってきたときに迎える部屋。ですが、「使わないのはもったいない」と奥さまが寝室として利用することもあるそうです。(左)ご主人が唯一こだわったというバスルームは、水田が眺められる特等席。バスコート付きで、「お風呂掃除やタオル干しなんかも、気持ちよくできるようになりました」(奥さま)

**社名** ●菅組  
**代表者** ●菅 碩夫  
**住所** ●〒769-1406 香川県三豊郡仁尾町辛15-1  
**電話** ●0875-82-2441  
**URL** ●<http://www.suga-ac.co.jp/>  
**年間建築棟数** ●新築35棟  
**社員数** ●102名  
**平均坪単価** ●55万円  
**主な工法** ●木造軸組工法、木造枠組工法  
**建築地域** ●香川県・愛媛県東部  
**設立** ●1962年5月  
**定休日** ●日曜、祝日、第2・4土曜

## 工務店からひとこと



「いいな」という思いを最も実現していきたいと考えています。「家は、住まいの手が思う存分が主役を演じるための場所。その名監役でありたいと思います。

家づくりの特徴としては、柱や梁などの構造体を表した真壁

(左)専務取締役・菅徹夫。

家づくりには予算や敷地など、さまざまな面で制約があるのです。が、常に住む方の要望に耳を傾けて相談を重ね、与えられた条件下で「こんな家にできた

など、さまざまな面で制約があるのです。が、常に住む方の要望に耳を傾けて相談を重ね、与えられた条件下で「こんな家にできた

工法による伝統的なデザインを多く手掛けています。また、「近くの山の木で家をつくる運動」を行っており、高知産の杉を主に使用しています。自然素材の家



(右)光を入れ、空気の流れをつくる越屋根。諱岐では昔から、森小屋や、たばこの葉の乾燥小屋でよく設けられてきました(上)東側の水田からは涼風が渡ってきます

1F

## D A T A

敷地面積 / 492.52 m<sup>2</sup> (149.25坪)

床面積 / 129.93 m<sup>2</sup> (39.37坪)

用途地域 / 準工業地域

建ぺい率 / 60%

容積率 / 200%

構造 / 木造軸組工法

竣工 / 2004年10月

N  
0 90 180 270

